

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		キッズエール犬山Ⅰ		公表日	2026年 1月 1日		利用児童数	10名	回収数	7名
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			1				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7							
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6			1				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	7							
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7							
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4		1	2				
支援の質	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7							
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	1					
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	7							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1						

保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6		1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		4	1		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者にに対して発信されていますか。	6	1				
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	1				
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1				
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4		1	2		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7					
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	7					
	29 事業所の支援に満足していますか。	7				前日になると「やったー」と喜んでいる	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズエール犬山Ⅰ				公表日	2026年 1月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	1	保育士指導員の数が多く、個別支援も丁寧に出来ている		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	3			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	1	学習おやつ運動等の活動に合わせて環境調整を行っている。	床がコンクリートの為腰が痛くなる	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	リタリコ研修、外部講師の研修に参加し法令や加算についての知識を深めている		
児童発達支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		個別支援計画を元にスマールステップの目標を設定 月1回モニタリングで振り返りしている。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12				

適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16		5領域や季節に応じた内容を考え実践して る 児童は発達に合わせて設定している	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	1		支援に対する役割分担については細かい配置など出来ていないことがある
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	児童の様子発言についてや保護者からの相談内容など細かく共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	1		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		1	対象児童がいません	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4		
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15			
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2		
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12			
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1		
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	1	年3回程避難訓練を行っている	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11		見学、契約時に確認を取っている	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		アレルギー表を作成している。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				

心	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		毎月ヒヤリハットを全職員に共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		外部研修に参加する事で、職員間での共通認識を持てるようにしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズエール犬山Ⅰ			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月20日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	10名		(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月20日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)		23名	(回答者数)	23名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月22日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援方法について	職員同士での情報共有を密に行っており、カリキュラムもマンネリ化を防ぐために、日々職員のアイデアを取り入れている。	より専門性を高めていくために、社内での研修の充実化。
2	事業所のスペースが充実している	一部屋に学習部屋、活動部屋を設け、お子さまに応じた支援環境を整備している	視認性を高めて、次は何の活動か?など誰でもわかりやすい環境を整える
3	保護者との連携・共有を密に行えている	送迎時間での活用や都合によって面談機会も設けている (希望によってはオンラインでの調整も進めている)	目標の達成具合など満足度に直結するため定性的に示し、わかりやすさも追求していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者さま同士の交流会の開催	ご利用いただいている 者様同士の交流会や意見交換会を定期的に実施でき い	新年度から、半年に1度保護者会を開催し、保護者同士の交流や事業所への意見交換会を実施する
2	事業所運営の透明化	避難訓練や感染対策など事業所からの発信が少なく、保護者様への浸透が低い	年間スケジュールを作成、各種緊急事項関連は定期的に会報として発信していく

3	事業所外の環境について	階段昇降時のリスク増 (天候不良時や夜間の使用は視認性低下しやすい)	ライトを増設し常時明るい環境を整備 段差に違いが分かるように蛍光色などで 見やすさを改善する
---	-------------	---------------------------------------	--

		公表	保護者等からの事業所評価の集計結果						
事業所名	キッズエール犬山Ⅰ		公表日	2026年 1月 1日		利用児童数	12名	回収数	7枚
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5			2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4			3				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	4		1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	2		1				
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1		1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	1		1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	6			1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7							
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1		1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1						
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	1	2				
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7							
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1		1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		3	3	1				
児童の権利の実現	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	6	1						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7							

保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	2		2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	2	2		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者にに対して発信されていますか。	6		1			
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			1		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		2		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		2		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	2		2		
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	2		2		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	4	3				
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	4	3				
	29 事業所の支援に満足していますか。	5	1		1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズエール犬山				
					公表日 2026年 1月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15		パーティションを使用し区分けしている	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	6	鉄筋が剥き出しにならないようにクッション材を使い保護している	階段が急である 日没後の階段が怖い
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2	朝の時間を活用して活動の振り分けをしている	振り返りの時間があると良い
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			年に数回パート職員も受けられる 機会があるとより統一した支援になつていく	
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	1		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	3		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	2		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14		児童の発達にあったプログラムを組んでいく	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	1		当日立案になる事もある
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15		様々な職員の意見を取り入れて活動を考えている	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15		子ども一人一人の発達段階に応じて一日の計画を作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		毎朝送迎、活動、待機について話し合っている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	2	外部の記録サイトを使用し毎日の記録の入力	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	11	1		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15			
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	28 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	15			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10			
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			対象となる児童がいません	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	5	公共施設を利用したり、課外活動をすることで交流の場を設けている。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	4		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		相談事に対して職員間で共有をし 皆が対応できるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		普段の様子をインスタに登校している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		月に3回程訓練をしている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		契約時に確認	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		アレルギー表の作成	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				

心	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		月2~3件作成し全職員への共有	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		研修に参加し職員間で共通認識を持っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズエール犬山Ⅰ			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 12名	(回答者数) 7名		
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ~ 令和7年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 23名	(回答者数) 23名		
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月22日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援方法について	職員同士での情報共有を密に行っている。 カリキュラムもマンネリ化を防ぐために 様々職員のアイデアを取り入れている。	より専門性を高めていくために、 社内での研修の充実化。
2	事業所のスペースが充実している	一部屋に学習部屋、活動部屋を設け お子さまに応じた支援環境を整備している	視認性を高めて 次は何の活動か?など 誰でもわかりやすい環境を整える
3	保護者との連携・共有を密に行えている	送迎時間での活用や 都合によって面談機会も設けている (希望によってはオンラインでの調整も進めている)	目標の達成具合など満足度に直結するため 定性的に示し、わかりやすさも追求していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者さま同士の交流会の開催	ご利用いただいている 保護者様同士の交流会や意見交換会を定期的に実施できてい い	新年度から、半年に1度保護者会を開催し 保護者同士の交流や事業所への意見交換会を実施する
2	事業所運営の透明化	避難訓練や感染対策など 事業所からの発信が少なく 保護者様への浸透が低い	年間スケジュールを作成 各種緊急事項関連は定期的に 会報として発信していく

3	事業所外の環境について 階段昇降時のリスク増 (天候不良時や夜間の使用は視認性低下しやすい)	ライトを増設し常時明るい環境を整備 段差に違いが分かるように蛍光色などで見やすさを改善する
---	--	--